ユネスコ群馬 No. 78

群馬県ユネスコ連絡協議会

http://gunma-unesco.com

会長　樋口　克己　　事務所　群馬県教育委員会生涯学習課

つなげよう平和の心　広げようユネスコの輪

コロナ禍中で特別な対応をしました

群馬県ユネスコ連絡協議会
会長　樋　口　克　己

本年度は、新型コロナウィルス感染拡大の懸念の中、県ユ連の活動がスタートしましたが、コロナ禍で活動を大幅に変更せざるを得ませんでした。

関ブロ群馬大会が中止

本年10月24日（土）に高崎市内で２０２０年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in群馬（関ブロ群馬大会）を開催する予定で実行委員会を組織し、オール群馬の体制で取り組んで参りました。

ところが、最近になり感染拡大のペースが緩やかになったもののコロナ禍の収束に至っていません。むしろ、10月の関ブロ大会開催の頃、感染拡大の第二波が到来するのではないかという強い懸念が持たれています。そんな中、５月にユネスコ全国理事会（書面審議）が開催され、ブロック別研究会の開催の可否が検討され、ブロ研中止の理事会決定がされました。

全国理事会の決定を受け、５月末に日本ユネスコ協会連盟理事長名でブロ研中止要請がありました。

以前より、長期に亘り関ブロ大会の準備を重ねてきた群馬県連としては、開催中止は残念ですが、関東ブロック内の都県連会長と協議の上、参加者の安心安全を第一と考えた中止要請を尊重し、関ブロ群馬大会を中止することにしました。

県ユ連総会を中止し、書面議決

同じく、コロナ禍中の５月24日（日）開催予定だった県ユ連定期総会を中止し、書面議決としました。詳細は、この会長あいさつ文に続く記事「定期総会は書面表決に…」をご覧ください。本誌面第２面に掲載したとおり、各議案とも賛成多数でしたので、「全議案が承認された」と議決しました。

結び

コロナ禍で多難な一年となりますが、本年度も県ユ連の活動によろしくご理解ご協力を賜りますようお願い致します。併せて、県内各ユネスコ協会及び国際ソロプチミスト前橋のご健闘と会員並びに関係各位のご健勝を祈念申し上げます。

定期総会は書面表決に……！！

新型コロナウィルス感染拡大が強く懸念される状況のもと、４月16日に政府が緊急事態宣言を全国に発出いたしました。そのため、多数の人間が密閉された部屋で、密集・密接した状態で総会をおこなうことによる感染のリスクを最小化するために、本年度の定期総会は書面表決により議決することにしました。

書面表決は、群馬県内の約2,000名の会員を対象とするのが本筋ですが、全会員に総会資料を送付し、表決をお願いするのは、日程的にも費用的にも不可能であると判断し、定期総会が実施された場合に、そこに参加する意向を示していただいていた会員51名の皆様に限定して議案書を送付し、書面表決のお願いを致しました。

表決の結果		賛成	反対	一任
議案第1号	2019年度事業報告	47	0	4
議案第2・3号	2019年度決算報告並びに監査報告	47	0	4
議案第4号	役員改選	47	0	4
議案第5・6号	2020年度活動方針（案）並びに事業計画（案）	47	0	4
議案第7号	2020年度予算案	47	0	4
議案第8号	2020年度関ブロ群馬大会開催要項（案）	45	2	4
議案第8号	2020年度関ブロ群馬大会予算（案）	45	2	4

※議案第8号の「反対2」というのは、2020年度関ブロ群馬大会の開催要項・予算には異議はないが、新型コロナウィルス感染防止のために大会の開催について反対するという意思表示だそうです。

2020年度　活動方針

（1）ユネスコの理念を次世代に伝え、後世にも活動をつなげていく。

（2）ユネスコ活動を普及し、平和を目指す活動の輪を広げる。

（3）持続可能な社会の構築を目指して、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）の普及および持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）達成に努める。

（4）ユネスコ世界遺産に関る民間活動を推進し、世界遺産・地域遺産・未来遺産に関る情報発信や保護保全等の活動を進める。

（5）日ユ協が推進する事業に連携・協力して、世界寺子屋運動等を推進する。

（6）2020年度関東ブロックユネスコ活動研究会in群馬開催に向けてオール群馬で取り組み、大会を成功させる。

2020年度　事業計画

	事　業　名	期　日	会　場	備　考
県ユ連主催事業	定期総会	5月24日（日）	高崎市中央公民館（中止）	※書面表決に変更
	運営研修兼事務局員研修会	中　止		関ブロ群馬大会実施のため中止
	研修視察	中　止		関ブロ群馬大会実施のため中止
	海外青年交歓研修会	中　止		関ブロ群馬大会実施のため中止
	広報誌「ユネスコ群馬」第78・79号刊行	発行7月 1月		＜県ユ連広報委員会担当＞年2回発行（会員全員及び関係者に配布）
専門	ユネスコスクール研修会	未　定	藤岡市総合学習センター	＜ユネスコスクール委員会担当＞
	世界遺産研修会	中　止		関ブロ群馬大会実施のため中止
補助事業	国際理解バス	8月中に県内のユ協が実施予定	訪問先は東京又は筑波JICAや都内大使館等	＊国際理解・国際交流を図るため、各ユ協が児童・生徒対象に実施
	文化活動補助 －絵画等作品展の補助－	県内4ユ協がユ協毎に実施	各ユ協が会場を設定	＊児童・生徒の絵画等の作品の展示会を単位ユ協が行う。
会議	理事会 関ブロ群馬実行委員会	年間12回（毎月開催）	前橋プラザ元気21	◎理事会終了後、2020年度開催の関ブロ群馬大会実行委員会を行う
	役員会議	適宜開催	前橋プラザ元気21	＊本部役員と事務局員参加
日ユ協等	日ユ協定期総会	6月13日（土）	東京	本県からも参加予定
	日本ユネスコ運動全国大会	7月4日（土）	山口県宇部市（中止）	※コロナウィルス禍のため中止
	関ブロ群馬大会	10月24日（土）	群馬県高崎市（中止）	※コロナウィルス禍のため中止
	日ユ協評議員会に出席	年間3回開催	東京	本県の評議員が出席予定
その他	世界寺子屋運動実践（日ユ協と連携協力）	通年		県内各ユ協が「書きそんじハガキ回収キャンペーン」を推進
	東日本大震災子ども支援募金（日ユ協と連携協力）	通年		県内各ユ協が募金を継続、震災被災者に就学支援をする。

2020年度　予算

1　収入

項　目	令和元年度予算（円）	令和2年度予算（円）	摘　要
繰越金	42,472	57,038	前年度繰越金
会費	514,000	514,000	会　費　490,000円 （40,000円×12ユ協＋10,000円×1） 会場負担金　24,000円（2,000円×12ユ協）
事業収入	390,000	390,000	事業費　240,000円 （20,000円×12ユ協） 名刺交換代　150,000円（2,000円×75人）
補助金	80,000	80,000	群馬県教委補助金
雑収入	20	20	預金利子　20円
合計	1,026,492	1,041,058	

2　支出

項　目		令和元年度予算（円）	令和2年度予算（円）	摘　要
会議費		30,000	30,000	理事会等会議費
旅費		60,000	60,000	各種旅費
通信費		30,000	30,000	切手等通信費
印刷費		260,000	260,000	＜内訳＞各種印刷経費　1万円 広報「ユネスコ群馬」年2回発行　25万円
消耗品費		35,000	35,000	事務用品等消耗品費
事業費		486,000	286,000	
事業費内訳	単ユ協助成	156,000	156,000	13,000円×12ユ協
	県ユ連総会	30,000	10,000	アトラクション中止のため減額
	運営研修	50,000	0	関ブロ実施のため中止
	海外青年交歓研修	50,000	0	〃
	研修視察	50,000	0	〃
	世界遺産委員会	30,000	0	〃
	ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	
	国際理解バス	16,000	16,000	2,000円×8ユ協（館林、大泉、藤岡地方、沼田、太田、前橋、富岡、高崎）
	ＨＰ維持管理費	30,000	30,000	
	文化活動補助費	24,000	24,000	6,000円×4ユ協（伊勢崎、前橋、太田、高崎）
構成員負担金		6,600	6,600	
積立金		50,000	100,000	＜内訳＞関ブロ積立金　5万円 創立60周年記念事業積立　5万円
関ブロ群馬大会特別助成金			180,000	運営研修、海外青年交歓研修、研修視察、世界遺産委員会を中止し充当
慶弔費		10,000	10,000	
予備費		58,892	43,458	
合計		1,026,492	1,041,058	

令和元年度　世界遺産研修会報告

2020年２月15日（土）富岡商工会議所ホール

富岡ユネスコ協会　事務局次長　石井　智弘

令和２年２月15日（土）県ユネスコ連絡協議会世界遺産委員会主催、富岡ユネスコ協議会主管による「令和元年度世界遺産研修会in富岡」が県内各ユネスコ協会の方々、また富岡市長をはじめとする来賓の皆様総勢65名の参加のもと、富岡市の富岡商工会議所ホールを会場として開催されました。

今回の研修では世界遺産登録から５年が経過した富岡製糸場に目を向け５年間のなかでの新たな発見や今後の展望について、専門家による講演を通して研修し、富岡製糸場についてより理解を深める機会とすることを目的として開催しました。講師として富岡製糸場総合研究センター所長の結城雅則氏をお迎えし、「世界遺産登録から５年～新たな発見と今後の展望～」をテーマとして御講演をしていただきました。講演では明治５年の操業開始から昭和62年の操業停止に至るなかでの歴史背景から、かつては日本を支えたのは基幹産業であった絹産業だったこと。また、文化財指定から「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産登録されるまでの経緯と、登録から５年間の中での地域経済にもたらしたものや、新たに発見された文献史跡等について、そして現存する建物の保存修理から整備活用に至るまで、詳しく説明をして頂くことで産業遺産としての富岡製糸場についてさらに深く知る機会となりました。改めてこの世界遺産の保護や保全のあり方を探り、後世に伝えていかなければならないと思いました。

あ と が き

この３月より新型コロナウイルスが猛威をふるい、政府は４月中旬から１ヶ月半におよぶ「緊急事態宣言」を発出しました。そのため、国内で開催される予定であった各種イベントは自粛ないしは中止に追い込まれました。本協議会においても今年度の行事は大幅な自粛・中止は避けられません。コロナウイルスの感染によって多くの命が失われ、自由を奪われた人々。今、明日をどう生きればいいか不安な人たちもいます。この出来事を悲劇で終わらせず、私たちは今何をなすべきか考えていかなければなりません。「私たち人間はコロナから何を学ぶのか？」

編集委員長　石井　敏明

編集・発行

群馬県ユネスコ連絡協議会
発行責任者　樋　口　克　己
群馬県前橋市大手町１－１－１
群馬県教育委員会生涯学習課内
電話　０２７－２２６－４６６８

群馬県ユネスコ連絡協議会　加盟団体

桐生ユネスコ協会　太田ユネスコ協会　前橋ユネスコ協会　伊勢崎ユネスコ協会
高崎ユネスコ協会　富岡ユネスコ協会　沼田ユネスコ協会　館林ユネスコ協会
安中碓氷ユネスコ協会　藤岡地方ユネスコ協会　中之条ユネスコ協会　大泉ユネスコ協会
国際ソロプチミスト前橋